

「イブニングセミナー in 酒田」が開催されました

1月26日（金）、酒田市内で「イブニングセミナー in 酒田～コスタネオロマンチカ来港で見える酒田港の未来～」が開催されました。

このセミナーは、今後のクルーズ船の受入に関し、地元関係者が課題を共有し、今後の受入の機運醸成を図るため、山形県が主催、“プロスパーポートさかた”ポートセールス協議会が共催したもので、約100名が参加しました。

第一部では、株式会社海事プレス 齊藤正幸客船誘致推進部長が、昨年8月2日に酒田港に寄港した「コスタネオロマンチカ」の乗客アンケート結果などの調査報告を行いました。齊藤部長は、「乗客の方々はおもてなしに感動していた。ただWi-Fiや、案内・メニューの外国語対応の整備等が必要だ。」と指摘されました。

第二部では、コスタクルーズ日本支社 糸川雄介支社長が、「クルーズポート・酒田港の可能性」と題し講演されました。糸川支社長は、「昨年8月2日のコスタネオロマンチカ寄港時は、乗客がほぼ日本人で、酒田港の評価は高かった。今年5月25日と10月12日の寄港時は、欧米（イタリア、フランス、ドイツ、スペイン、ロシア等）からお客様が来る。寄港地観光やフリー客対応をどう仕分けするか等、今度は更に細分化した対応が求められる。」と述べられました。

これらの講師の指摘に対しては、関係者で対応を検討し、地元一丸となってクルーズの乗客の皆様を「おもてなし」しましょう！



コスタクルーズ日本支社
糸川支社長



(株)海事プレス社 齊藤客船誘致推進部長による
受入成果報告会



糸川支社長の講演の様子

